

週報

2023年度 教会標語

「礼拝に集おう！主に癒され、整えられて」

<先週の説教から>

『召天者記念礼拝・ミカ⑩』

一人はそれぞれ自分の木の下に』

武田真治牧師

ミカ書 4:4-8 ルカ福音書 14:15-24

連続して一つの書を飛ばすことなく説教をしておりまして、時々めぐって来る“教会歴に関する礼拝”に必ずしもふさわしい箇所ではない聖書の言になったりすることが往々にしてあります。そのような場合は、中断してその時の教会歴に沿った聖書箇所を別に指定することになるのですが、この教会の礼拝では不思議にその時の順番の聖書箇所が教会歴とも一致するという経験を何度もして来ました。今回もそうで、特にミカ書4章6～7節「その日が来れば、と主は言われる。わたしは足の萎えた者を集め、追いやられた者を呼び集める。わたしは彼らを災いに遭わせた。…シオンの山で、今よりとこしえに、主が彼らの王となられる。」の言葉がまさに今日の召天者記念礼拝と関係しているからです。

ここで「足の萎えた者（＝足を悪くした者）」と「追いやられた者（＝連れていかれた者）」が何を意味しているのかと申しますと、ここはその前から“戦争”が問題になっており、この二つの人達は、戦いで体が不自由になったり、捕虜や傷を負って戦線から離脱させられた人たちのことで実は戦いには「呼ばれない」人たちのことなのです。しかしそういう人たちこそ必要とされ「集め、呼ぶ」ような「その日」が来ると。その日は戦争のためではなく、平和のために！

そして、まさにこのミカの預言の言葉を、代々のキリスト者たちは自分たち＝イエス様とその弟子たちのことを預言している言葉だと受け止めてきたのです。即ち、ここでイエス様が「呼び集め」られる来るべき「その日」こそ、①イエス様がこの地上に来て、弟子たちを集められた（＝召命された）時に、そして②十字架に架かれた後、復活され天に昇られたイエス様がそこから聖霊を降して、教会をこの世界に誕生させられた（＝教会へと集められた）時に、最後に③その天へとイエス様が私たち信仰者を招かれる（＝天へと召

される）時の“3つの時”があると信仰的に受け止めて来たからでした。故に召天者記念礼拝とも関わっているのです。

そのいずれの時もイエス様が集められた人たちは、立派な何にでも用いられる、いかにも有能な人間ではなく、どこか弱さのある、この世界から少々はみ出ているような者たちだったのでないでしょうか。私たち自身もまさにそうではないでしょうか。苦難を経験し「災い」を経た者であり、イエス様を必要とする者だからこそ「集めて」くださる！

ただそれで終わりません。今日の箇所は次に「しかし、わたしは足の萎えた者を残りの者（＝子孫へと繋げるために残された希望の民）としていたわり、遠く連れ去られた者を強い国（＝原文では「民」とする）と。こんな私たちを“大事な者”としていたわり、“強く”してくださるのです。

【今週の集会】

*聖書研究・祈祷会 I. 11月15日（水）20:00
II. 11月16日（木）10:30

聖書：ハイデルベルク信仰問答

祈祷主題：日本基督教団を覚えて

担当者：（水）吉澤 （木）兼川

祈りに覚える人：武田さん 田嶋さん

【教勢報告】

主日礼拝 男26 女58 計84
祈祷会 I. 男6 女3 計9 II. 男1 女6 計7
日曜学校 幼稚科5 小中科8 計13

【次週主日礼拝】 11月19日（日）

聖書：ミカ 5:1～5

マタイによる福音書 2:1～7

説教：「ミカ⑩ — ああ、ベツレヘムよ！」

武田真治牧師

讃美歌：157(1)、32、58(1～3)、452(1～2)、267(1～4)、37(1)

【次週当番表】

司式：茨木長老 奏楽：須田 礼拝：金刺長老

献金：北條 保坂 受付：西尾 吉岡

会堂準備：小杉 富澤 長田 橋本

北條

看板 曾我 週報 吉岡 お花 羽倉

【次週集会予定】

礼拝前：・聖書輪読会・求道者会・

礼拝後：・オリブの葉編集委員会・日曜学校教師会

・幼稚園理事会・お茶の会・牧師と語る会

・聖歌隊練習・改長協研修会

2023年 11月 12日

日本キリスト教団 上尾合同教会

牧師 武田真治

〒362-0041 上尾市富士見2-3-33

TEL&FAX 048-771-6549

<http://www.ageo-church.org/>